

第8回日本レーザーリプロダクション学会

2013.03.31 兵庫

当院における LLLT の歩み

IVF 大阪クリニック 井田 守、福田愛作

IVF なんばクリニック 森本義晴

当院では 2008 年より、LLLТ を実施しており、現在では統合医療の中心的役割を担う存在となっている。今回は当院における LLLT の歩みをふり返るとともに最新の成績、知見を報告する。2008 年アンケート調査を行ったところ、不妊治療患者では補助治療に対する関心が高く、サプリメントや、運動療法以外の新たな補助治療を望む声が多く認められた。第 3 回 JaSLaR に参加した福田院長の発案により、大城俊夫先生から LLLT の実際をご教授いただき、2008 年 7 月より当院における LLLT が開始された。開始当初から肩こり、冷えなどの愁訴に対する改善効果が高く、患者からは好評をもって迎えられた。また妊娠例も数例あり、当院の LLLT は順調なスタートを切った。その成果については、2009 年第 4 回 JaSLaR にて第一報を報告した。また福田院長は 2009 年第 13 回日本 IVF 学会シンポジウムにおいて「低反応レベルレーザー治療による卵子 Quality 改善の試み」を発表し、多くの反響を呼んだ。2010 年には第 5 回 JaSLaR を福田院長が主催し、LLLТ については当院から、IVF 症例における臨床成績、配偶子への影響に関する基礎的検討、看護サイドからみた患者満足度 を発表をした。その後 LLLT は症例数を増やし、2011 年第 6 回 JaSLaR では反復 IVF 不成功かつ血流不全に伴う身体症状を有する難治例において LLLT が妊娠率を有意に改善させたことを報告した。また 2011 年には当院でこれまで行ってきた補助治療を患者ひとりひとりに合わせて系統立てて行っていく統合医療プログラムを開始し、2012 年第 7 回 JaSLaR にてその成果を発表した。また 2012 年には IVF Japan グループが第 4 回 ASPIRE を主催し、福田院長がシンポジウムにて「LLLТ enhances implantation in IVF treatment」を発表した。また IVF Japan グループが出展した統合医療ブースでは、当院スタッフが LLLT などの補助治療を実施し、海外からの多くの参加者からも好評を得た。現在、当院の補助医療の中で LLLT は中核的役割を担っており、今後も統合医療の重要な key となると考えられる。